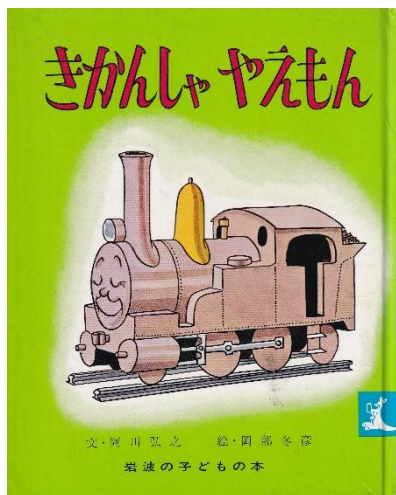


豊庄だより

第 764 号 2023 年 7 月 3 日

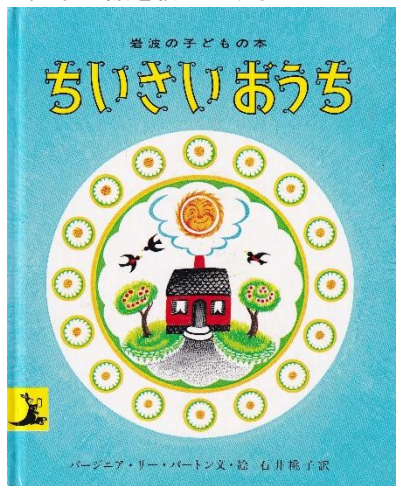
先日、久しぶりに本屋に行きました。天神や博多駅の本屋に行かないと、満足のいく本探しはできませんが、コロナ禍の中で、街中を散歩することを控えてきた習慣がなかなかとれず、早良区の中規模の本屋に顔を出しました。

店内は閑散としていました。また、最近のブームでしょうか、店内に文具類がかなりのスペースを取って並べられていました。「こんなものに面積を使わず、本をもっと置けよ」と言いたいところですが、しかたありません。本屋も本だけでは経営は厳しいのかもしれない。以前この本屋で、リチャード・ライトの「ネイティブサン」を買った時、「この本売れていますか？」と店員さんに声をかけました。外国文学のコーナーに 5 冊ほど置かれていたので、そこそこ売っていて、黒人文学について話ができるかなと思ったのですが、を全く関心を寄せてくれませんでした。この本屋は福岡でも老舗ですが、従業員に本のプロフェッショナルが少ないのかなと感じました。



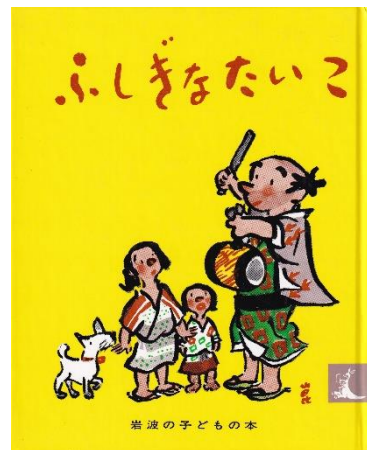
さて、以前の話はこれくらいにして、「いくつかのえほん」について書きます。この冊子は、絵本コーナーの前に置かれていました。フリーペーパーでした。1 冊とって読みました。これがなかなか面白い。「いくつか」というのは、年齢のことです。0 歳から 5 歳まで年齢にあった「えほん」が紹介されています。その数 130 冊。読んでいる本はどれくらいあるかなとページをめくりました。『いないいないばあ』(0 歳)、『もこ もこ もこ』(0 歳)、『だるまさんが』『だるまさんの』『だるまさんと』(0 歳)、『たまごのあかちゃん』(1 歳)、『はらぺこあおむし』(2 歳)、『パンダ銭湯』(3 歳)、『ちよっとだけ』(3 歳)、『わすれられないおくりもの』(4・5 歳)、『へいわとせんそう』(4・5 歳)等が目に入りました。どの本も名作です。しかし、豊庄保育園の図書室には半分を少し上回るくらいしかありませんでした。「これではいかん」を思い、すでに豊庄保育園にあるのは除いて全部そろえようと決意しました。

絵本の話が続けます。「いくつかのえほん」の配布を 6 月 23 日にしていたのですが、ちょうどこの日は 6 月誕生会。「園長の話」の時に「いくつかのえほん」について話しました。木曜日の図書貸し出しの時、手に取ってほしいと子どもたちと参加された保護者のみなさんに紹介しました。



しかし、これだけでは本屋の営業マンみたいですので、私の勧める絵本も紹介しました。1 冊目は『きかんしゃやえもん』です。蒸気機関車の「やえもん」が、技術革新によりレールバスや電車にその地位を奪われるお話です。列車は話すことばが軽妙で楽しめます。2 冊目は、『ふしぎなたいこ』です。主人公は、げんごろうさん。不思議な太鼓を持ち、「鼻高くなれ」と言いながらたいこをたたくと鼻が伸び、「低くなれ」というと低くなりました。ここでも問題が生じます。それは何？ 知りたい方は本を読んでください。最後の 1 冊は、『ちいさいおうち』です。この本だけが外国の本です。ちいさいおうちを取り巻く環境が次々に変わっていくのが、美しい絵で描かれています。絵も文もバージニア・リー・バードンです。この本が出版されたのは 1954 年。私が生まれた年です。

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達



6 月誕生会懇談会より その 2

・乱暴な言葉を使う子に何を教えればよいか。



6月10日保育参観(すみれ)

まず乱暴な言葉って悪でしょうか？これは悪でしょう。相手を傷付けるのですから。では乱暴な言葉って不必要でしょうか？これは必要なもの、いわゆる必要悪でしょう。動物に例えるなら縄張り争いのための威嚇のようなものです。では大事な事は何でしょうか？それは乱暴な言葉の使い方だと思います。相手に強い拒絶を伝えるためには必要な悪です。気持ちを表明するのは群れの中で生きるためには必要なことです(詳しい理屈は省きます)。問題はその言葉を使うことによってどのような影響が出るのか、どのような人間関係になるのか、これを教えることが大事です。

アインシュタインは原爆を作りましたが、本来は戦

争に使うって欲しかったわけではありません。爆弾の火薬と畑の肥料は同じ物質から作られています。つまり大事なのは使い方なのです(そこまで含めて責任を持つことを科学者の倫理と言います)。悪い言葉も「これ以上やったら物理的な手段をせざるをえないぞ！」という最終通告として使うなら有用なものです。お互いに利益が生まれます。でも子どもはその感覚がわかりません。だからこそ大人が教えていかなくてははいけません。乱暴な言葉を常用すると言葉の重みも失われ、いたずらに敵を増やし、自身の品格を落とします。将来的な幸福の量が少なくなりかねませ



6月10日保育参観(ばら)

ん。

物事に対して「それはダメ」と言うのはたやすいです。でも「何故それがダメなのか」を言うのは難しいです。難しすぎて「なんにでも理由があると思うな！」と聞き直る人までいます。でもどこにでも理由や理屈はあるのです。子どもは大人が使う飾りがわからないからこそ根本を見てしまいます。大人がどこまで考えて答えているのかわかるものです。少なくとも私はそうでした。適当にあしらっているかどうかは大人もわかりますが、子どもだからと言って騙せるわけではないのです。理



6月10日保育参観(ゆり)

屈を知った上で話すというのは子どもに伝える上で大事なことで、色々と調べてみてください。ここまで理屈を並べておいて言うのもアレなんです、理屈で考えると結局最後に大事になるのは感情だったりします。それこそが人間が人間たる理由です。

(このページの文責は舜、写真は園長です)



6月10日保育参観(ひまわり)